

第197回

ハイキング部だより



令和2年(2020年)3月29日(日)～醍醐寺の観桜ウォーク

コース:JR六地蔵駅～法界寺(日野薬師)～一言寺(いちごんじ)～醍醐寺～
随心院～地下鉄東西線「小野駅」(約8キロ)

参加者 4名

3月29日(日)参加者4名で第197回ハイキングを実施しました。朝まで降っていた雨も上がり陽がさす天気になりました。新型コロナウイルスの感染が治まらない状況下ですが200回が迫っていることでもあり「3蜜」に留意して実施しました。

10時、JR六地蔵駅をスタート。南山城学園 障害者相談支援センターで休憩、園内の桜が満開でした。なごみの里病院の前を川沿いに歩いて法界寺(日野薬師)に到着、ここは親鸞上人の生誕地と言われているところです。そのあと一言寺に立ち寄り醍醐寺に向かって約1時間ほど歩きました。醍醐寺の桜も満開で多くの見物客が歩いていました。しかし、外国の人はほとんど見かけませんでした。そのあと少し歩いて醍醐天皇の後山科陵を見て、すぐ横の児童公園で昼食をとりました。食後少し休憩して随心院に寄り小野小町が化粧をしたと言われる井戸を見て、あとは地下鉄小野駅まで歩きそこで解散しました。





随心院にて



日野薬師・法界寺



一言寺 (いちごんじ)



醍醐寺



醍醐天皇の後山科稜

第197回ハイキングは下記の計画で実施しました



～ 醍醐寺の観桜ウォーク ～

日 時： 令和2年3月29日(日) 10時 JR奈良線「六地蔵駅」集合
(京阪宇治線「六地蔵駅」、地下鉄東西線「六地蔵駅」連絡)

コース:JR六地蔵駅～法界寺(日野薬師)～一言寺(いちごんじ)～醍醐寺～
随心院～地下鉄東西線「小野駅」(約8キロ)

今回は、当初計画(須磨浦公園の桜)を変更して実施します。
世界文化遺産の醍醐寺を中心とした豊かな歴史が息づく醍醐を歩きます。
醍醐寺は平安時代初期の創建、山深い醍醐山頂一帯(上醍醐)を中心に修験
者の霊場となりました。後に醍醐天皇が自らの祈願寺とするとともに手厚い庇
護を与え醍醐山麓の広大な平地に大伽藍「下醍醐」が発展することになります。
その後豊臣秀吉による「醍醐の花見」をきっかけに今日の姿になりました。



親鸞上人の生誕地



一言寺 (いちごんじ)



醍醐寺



醍醐寺・仁王門



随心院